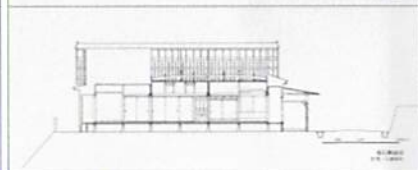
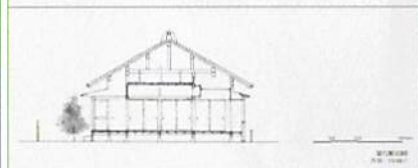
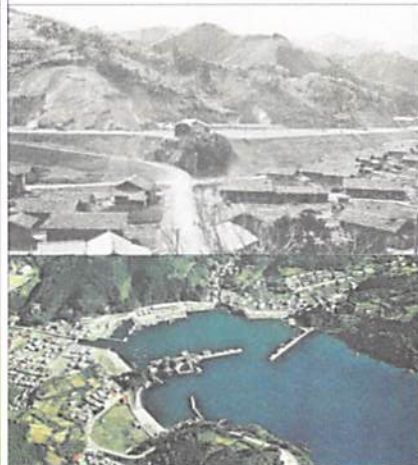


津波と綾里博物館
歴史・復興・住まい展

2015年
9月19日[土] ↓ 22日[火] 10時 - 18時
大船渡市三陸町綾里・字港上
復興地の空家「ヤマジユウ電気隣」入場無料





- 1 昭和三陸大津波からの復興、奥に造成中の復興地、手前に低地に建ち並んだバラック。出典：『金馬展 岩手県三陸町・綾里地区消防百年のあゆみ』綾里地区消防百年記念事業実行委員会、1998年
 - 2 昭和50年代前半の綾里港を写した航空写真
 - 3 昭和三陸津波後の復興地に建設された復興住宅（上）（中）岩手県復興計画（作図：石橋哲和、新沼邸、復興計画）（作図：吉田郁子、新沼邸、復興計画）（作図：石橋哲和、復興計画）
 - 4 3 回の大津波の浸水区域と復興地
- このプロジェクトは文部科学省科学研究費補助金「津波常襲地における50年後を見据えた津波リスク軽減方策とその伝承に関する研究」の一環として行われるものです。

津波と綾里博物館展

歴史・復興・住まい

岩手県三陸海岸に位置する綾里地区は、明治三陸大津波、昭和三陸大津波、東日本大震災の3度の大きな津波の被害を受けてきました。

災害後にいち早く復興に立ち上がり、それぞれの時代の復興を積み上げてきた地区でもあり、地区にはたくさんの津波常襲地の知恵が残っています。

特に、「復興地」とよばれる4カ所の昭和三陸大津波後の集団の高台移転地は、三陸海岸各地の復興地の中でも大規模なものであり、現在までの80年にわたる暮らしを支え、東日本大震災の津波から住民の命を守りました。

これまで5つの大学のチームが、綾里地区の復興をサポートし、これまでの取り組みについて調査を重ねてきました。そこで得た知恵や知識を、地区の内外の方々とも共有することをめざして、仮設の博物館をオープンします。

会場は綾里の湊（港）地区の復興地にある、昭和の復興当時の姿を残した復興住宅です。土地と建物に刻まれた復興の知恵を実感しにきて下さい。



- ### 主な展示内容
- 1 昭和三陸大津波の復興の歴史
 - 2 昭和の復興地と復興住宅
 - 3 昭和時代の綾里地区の地域社会の変化
 - 4 綾里地区の復興写真
 - 5 東日本大震災での避難と復興のあゆみ

関連企画

綾里まちめぐり
昭和の復興地、東日本大震災後の高台移転地、公営住宅等歩いて巡るツアーを随時開催します。時間等の詳細はウェブサイトにて告知します。

綾里むかし写真展
期間中東日本大震災以前の綾里の風景を写した写真を集めて展示します。

街並みや家、船、お祭りなど綾里地区の昔の写真をお持ちの方は、展示期間中に会場にお持ちください。その場で複写して展示させていただきます。

ミニシンポジウム in 東京
日時：2015年9月26日 13時～14時50分
会場：専修大学神田キャンパス

東京で開催される日本災害復興学会において「昭和三陸大津波と東日本大震災 災害と復興の時空間を探る」と題したシンポジウムを開催します。この博物館の取り組みを中心に報告と議論をするものです。入場無料、あわせてお越し下さい。詳しくは日本災害復興学会のウェブサイトもご覧下さい。

会場
大船渡市三陸町綾里 港70-13
復興地の空家（マジェック電気）

交通案内

- 東北新幹線 水沢江刺駅から
自動車約120分
- 東北新幹線 水沢江刺駅から
自動車約90分

- 三陸鉄道綾里駅より徒歩10分
- JR大船渡線盛岡駅から
自動車約20分

問い合わせ先
首都大学東京 家庭研究室
ab@rnu.ac.jp 042-677-2359
<http://your-expo.tumblr.com/>